




# Dell PowerEdge R920

## はじめに

規制モデル: E23S Series  
規制タイプ: E23S001



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**Copyright © 2014 Dell Inc. All rights reserved.** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell<sup>™</sup>、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2013-06

Rev. A00

# 取り付けと設定

**⚠ 警告:** 次の手順を実行する前に、システムに付属の安全に関する注意事項をお読みください。

## ラックシステムの開梱

システムを箱から取り出し、同梱品がすべて揃っていることを確認します。

レールの組み立てとラックへのシステムの取り付けの際は、システムに付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」およびラックへの取り付け手順に従ってください。

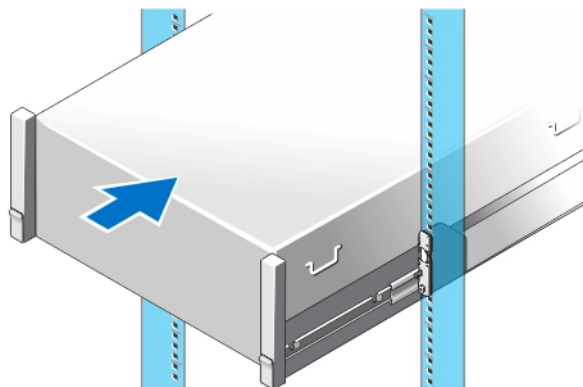


図1. ラックへのレールとシステムの取り付け

## オプション—キーボード、マウス、モニタの接続

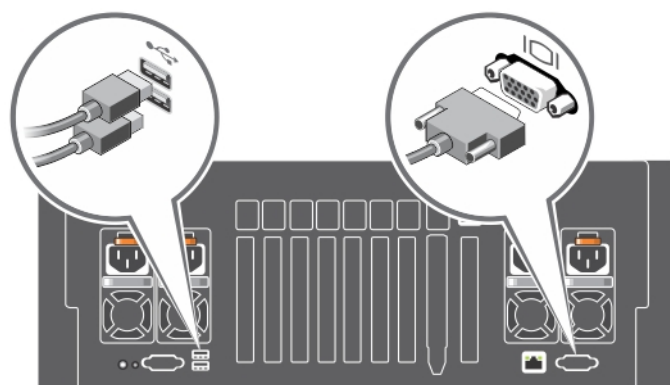


図2. オプション—キーボード、マウス、モニタの接続

キーボード、マウス、モニタ（オプション）を接続します。

お使いのシステムの背面にあるコネクタには、各コネクタに接続するケーブルの種類を示すアイコンがあります。モニタのケーブルコネクタにネジがある場合は、ネジを締めるようにしてください。

## 電源ケーブルの接続

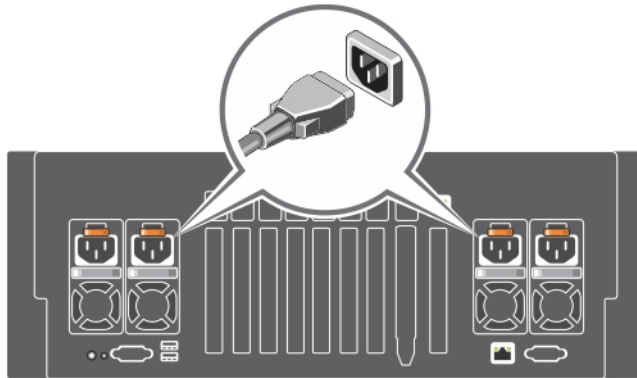


図 3. 電源ケーブルの接続

システムの電源ケーブルをシステムに接続し、モニタを使用する場合は、モニタの電源ケーブルをモニタに接続します。

## 電源ケーブルの固定

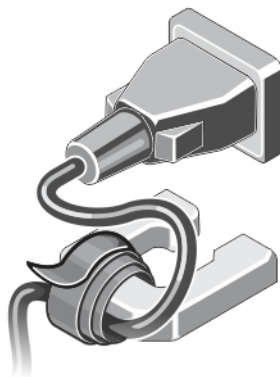


図 4. 電源ケーブルの固定

システム電源ケーブルを曲げ、ケーブルストラップを使用して電源装置ハンドルに接続します。電源ケーブルの反対側の端を接地されたコンセント、または無停電電源装置 (UPS)、電力配分装置 (PDU) などの別個の電源に差し込みます。

## システムの電源投入

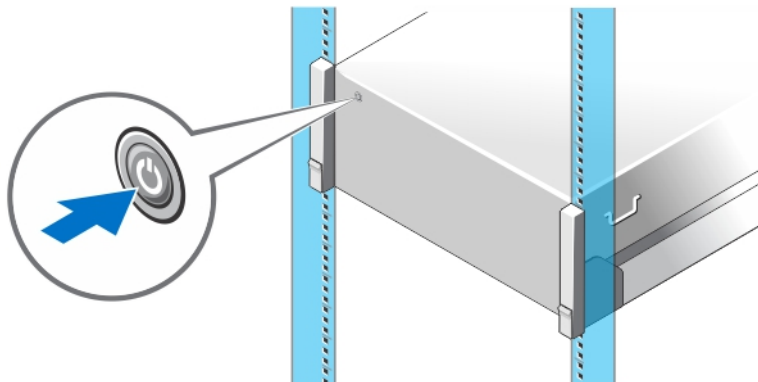


図 5. システムの電源投入

システムの電源ボタンを押します。電源インジケータが点灯します。

## ベゼル (オプション) の取り付け

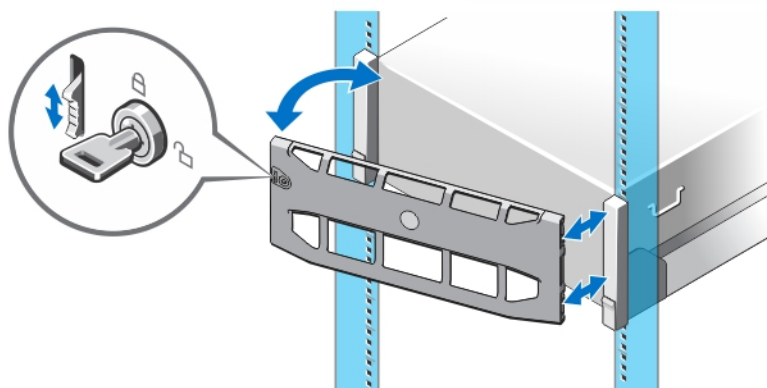



図 6. ベゼル (オプション) の取り付け

ベゼル (オプション) を取り付けます。

## オペレーティングシステムセットアップの完了


システムにオペレーティングシステムが事前インストールされている場合は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。オペレーティングシステムを初めてインストールする場合は、お使いのオペレーティングシステムのインストールと設定に関するマニュアルを参照してください。システムとは別途に購入したハードウェアやソフトウェアのインストールは、オペレーティングシステムがインストール済みであることを確認してから行ってください。

 **メモ:** 対応オペレーティングシステムの最新情報については、[dell.com/ossupport](https://dell.com/ossupport) を参照してください。


# Dell ソフトウェア製品ライセンス契約


このシステムをお使いになる前に、システムに付属する Dell ソフトウェア製品ライセンス契約をお読みください。デルがインストールしたソフトウェアのメディアはすべて、お客様のシステムにインストールされているソフトウェアの「バックアップ」コピーとしてお取り扱いいただく必要があります。同ライセンス契約の条項に同意されない場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。米国のお客様は、**800-WWW-DELL (800-999-3355)** にお電話ください。米国外のお客様の場合は、**dell.com/support** のページ左上から該当の国または地域をお選びください。

## その他の情報

 **警告:** システムに付属のマニュアルで安全および認可機能に関する情報を参照してください。保証に関する情報は、この文書に含まれている場合と、別の文書として付属する場合があります。

- 『Owner's Manual』（オーナーズマニュアル）では、システムの機能、トラブルシューティングの方法、およびシステムコンポーネントの取り付け方や交換方法について説明しています。この文書は **dell.com/poweredgemanuals** からオンラインで入手できます。
- ラックソリューションに付属のマニュアルでは、システムをラックに取り付ける方法について説明しています（必要な場合）。
- システムに付属のメディアには、オペレーティングシステム、システム管理ソフトウェア、システムアップデート、およびシステムと同時に購入されたシステムコンポーネントに関するものを含め、システムの設定と管理用のマニュアルとツールが収録されています。

 **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、**dell.com/poweredgemanuals** でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。

 **メモ:** お使いのシステムをアップグレードする時は、**dell.com/support** から最新の BIOS、ドライバ、およびシステム管理ソフトウェアをダウンロードしてお使いのシステムにインストールすることをお勧めします。

## テクニカルサポートの利用法

本書で説明している手順がよくわからない場合や、システムの動作が予期したとおりでない場合は、お使いのシステムの『オーナーズマニュアル』を参照してください。デルでは包括的なハードウェアトレーニングと認定制度をご用意しております。詳細については、**dell.com/training** を参照してください。地域によっては、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

## NOM 情報

以下は、メキシコの公式規格（NOM）の仕様に準拠する、本書で取り上げている装置に関する情報です。

輸入者：

Dell Inc. de México, S.A. de C.V.  
Paseo de la Reforma 2620 -11º Piso  
Col. Lomas Altas  
11950 México, D.F.

モデル番号：


E23S

供給電圧：

100～240 V CA（750 W、および 1100 W AC 電源装置ユニット使用時）または  
200～240 V CA（750 W Titanium 電源装置ユニット使用時）または

	- (48~60) V DC (1100 W DC 電源装置ユニット使用時)
周波数:	50 Hz/60 Hz (AC 電源装置ユニット)
消費電流:	12~6.5 A (X 4) (1100 W AC 電源装置ユニット使用時) 10~5 A (X 4) (750 W AC 電源装置ユニット使用時) 5 A (X 4) (750 W Titanium 冗長 AC 電源装置ユニット使用時) 32 A (X 4) (1100 W DC 電源装置ユニット使用時)

## 仕様




 **メモ:** 次の仕様には、システムの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載していません。お使いのシステムの仕様を記載した完全な最新リストについては [dell.com/support](https://dell.com/support) をご覧ください。

---


### 電源

---

#### AC 電源装置 (各電源装置ごと)

ワット数	750 W、1100 W、または 1600 W (利用可能時)
	 <b>メモ:</b> お使いのシステムは、最大 2 台の 1600 W 電源装置をサポートします。
熱消費	最大 2891 BTU/時 (750 W の電源装置) 最大 2780 BTU/時 (750 W Titanium 電源装置) 最大 4100 BTU/時 (1100 W の電源装置)
 <b>メモ:</b> 熱消費は電源装置のワット数定格に基づいて算出したものです。	
電圧	100~240 V AC、自動選択、50/60 Hz
 <b>メモ:</b> このシステムは、線間電圧が 230 V 以下の IT 電力システムに接続できるようにも設計されています。	または 200~240 V AC、自動選択、50/60 Hz (750 W Titanium 電源装置使用時)

#### DC 電源装置 (各電源装置につき)

ワット数	1100 W
熱消費	最大 4416 BTU/時
 <b>メモ:</b> 熱消費は電源装置のワット数定格に基づいて算出したものです。	
電圧	- (48~60) V DC
バッテリー	
コイン型バッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

---

### 物理的仕様

---

高さ	172.6 mm (6.80 インチ)
幅	
ラックラッチあり	482.4 mm (18.98 インチ)
ラックラッチなし	422 mm (16.61 インチ)

---

## 物理的仕様

---


奥行き (ベゼルを含む)	802.3 mm (31.59 インチ)
重量 (最大)	59 kg (130.07 ポンド)
重量 (空の状態)	23.8 kg (52.47 ポンド)

---

## 環境

---

 **メモ:** お使いのシステムは、フレッシュエアー冷却のデータセンターで、40~45 °C の間での使用に耐えられる設計になっています。詳細については、[dell.com/support/manuals](https://dell.com/support/manuals) で『Owner's Manual』(オーナーズマニュアル) を参照してください。

 **メモ:** 特定のシステム構成でのその他の環境条件の詳細については、[dell.com/environmental\\_datasheets](https://dell.com/environmental_datasheets) を参照してください。

### 温度

最大温度勾配 (稼働時および保管時)	20 °C/時 (36 °F/時)
保管温度制限	-40~65 °C (-40~149 °F)

### 温度 (連続稼働)

温度範囲 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10~35 °C (50~95 °F) 、装置への直射日光なし。
比較湿度範囲	最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10~80% の相対湿度。

### 相対湿度

ストレージ	最大露点 33 °C (91 °F) で 5~95% の相対湿度。空気は常に非結露状態であること。
-------	---

### 最大振動

動作時	0.26 G <sub>rms</sub> (5~350 Hz) (全稼働方向)。
ストレージ	1.87 G <sub>rms</sub> (10~500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。

### 最大衝撃

動作時	全動作方向で z 軸の正方向に 2.3 ミリ秒で 40 G の 1 衝撃パルス
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。

### 最大高度

動作時	3048 m (10,000 フィート)。
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)。

### 動作高度ディレーティング

最高 35 °C (95 °F)	950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。
35~40 °C (95~104 °F)	950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 175 m (319 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。




## 環境


40～45 °C (104～113 °F)

950 m (3,117 ft) を越える高度では、最高温度は 125 m (228 フィート) ごとに 1 °C (1 °F) 低くなります。


## 粒子汚染

 **メモ:** 本項では、粒子汚染およびガス汚染による IT 装置の損傷および/または故障を避けるために役立つ制限を定義します。粒子またはガス汚染のレベルが下記に指定される制限を越えており、これらがお使いの装置の損傷および/または故障の原因であると判断された場合、損傷および/または故障の原因となっている環境状態を改善する必要がある場合があります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。


### 空気清浄

 **メモ:** データセンター環境のみに該当します。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。

データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。


 **メモ:** データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。

### 伝導性ダスト

 **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。


空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウィスカ、またはその他の伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。

### 腐食性ダスト

 **メモ:** データセンターおよびデータセンター外環境の両方に該当します。

- 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。
- 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。

## ガス状汚染物

 **メモ:** ≤50% 相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

### 銅クーポン腐食度

クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。

### 銀クーポン腐食度

AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。